



2018年8月2日

川西市議会議長 様

会派(呼称)名 連合市民クラブ

議員名 安田 忠司 津田 加代子 岡 留美

管外調査報告書

このたび、管外調査をいたしましたので、その概要を下記のとおりお届けいたします。

記

- 1 調査者氏名 安田 忠司 津田 加代子 岡 留美
- 2 調査先 石川県加賀市医療センター
- 3 調査期間 2018年 8月 2日
年 月 日
- 4 調査結果の概要

当該医療センターは加賀市が開設していた加賀市民病院と山中温泉医療センターを統合し、平成28年4月開院。延べ床面積約2万6千㎡、総事業費は約100億円、25診療科、病床数は300床（一般214床＝内HCU10床、地域包括ケア41床、回復期リハ45床）で、一般病室290室は全室個室（差額ベッド代無料）。全室個室化は川西市が策定中の「市立総合医療センター構想（案）」に採り入れられようとしている方式であり、直接、現場を訪ね、個室化を採用するに至った経緯や、看護現場の現状等を視察、聴取した。個室化のメリットは「プライバシーの確保、静謐な環境の保持、患者個々に合わせて空調管理が可能」等であり、当初、心配された患者の見守りやスタッフの作業効率等は建設時に動線を検討、配慮したため、課題はなかったとのこと。スタッフ専用の通路（患者と交錯しない）、充実したスタッフルームの確保、通院の交通機関への配慮等、当市の参考になる点が多い視察となった。